

平成 28 年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

① 「森のようちえん」活動の指導等に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月

(概 要) 森のようちえんへの関心が高まる中で、幼児等を対象とする森林体験活動の安全かつ効果的な指導方法、進め方について調査、検討を行い、指導のポイント、安全管理に必要な知識、森での園外保育の実践に役立つプログラムやアクティビティをまとめた冊子を作成。

② 教育課程と外部講師の実施する森林環境教育の連携に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月

(概 要) 外部講師が実施する森林環境教育が教師から信頼される内容となるように、教育課程や教科書と関連性を持たせた授業を実践していくために必要な手法について調査、検討を実施。

③ 平成 28 年度国有林「レクリエーションの森」活用推進調査等事業

(発注者) 林野庁

(期 間) 平成 28 年 12 月 19 日～平成 29 年 3 月 23 日

(概 要) レクリエーションの森の利用状況の調査方法を調べ、それぞれの調査手法について、利用者・潜在利用者の数・属性、レクリエーションの森の利用目的、頻度その他情報把握の可否及びそのために必要となる時間・費用・確度・妥当性について調査を実施。また、特に重点的整備すべきモデルとなるレクリエーションの森の選定に備え、専門家に対する意見聴取、とりまとめを実施。

(2) 参考図書の発行・普及

新しく「森で行う園外保育 森のようちえん」を刊行するとともに、既刊の「小学校で役立つ自然とみどりのアクティビティ集」、「『森のようちえん』アクティビティ集」、「みちかな里山のアクティビティ集—体験活動マニュアル—」、「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ都道府県、森林管理局・署、関係団体等に配布（No.347(2016年4月)～No.358(2017年3月)、各号810～870部）。

また、森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集、会員等への配布を行うとともに、協会関連ホームページ（URL：<http://www.shinrinreku.jp>）の適時の更新・充実に努めた。

（機関誌（情報誌）の主な掲載テーマ）

① 森林レクリエーション活動に関する情報

- 持続可能なレクリエーション アメリカ編（3）（No.347）
- 人と地域を元気にする 滝ポテンシャル（No.350）
- 「山の日」記念 レクリエーションの森によろこそ（No.351）
- マウンテンバイクと森林利用（No.352）
- 全国に広がるロングトレイル（No.355）
- さまざまなトレイルランニング、そして山を楽しむためルール（No.357）
- 「高尾山自然休養林」と森林インストラクターの活動（No.358）

② 森林環境教育・健康等に関する情報

- 木育の役割と可能性（No.348）
- 東京おもちゃ美術館の木育（No.348）
- 第28回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の活動
(1、2、3)（No.352、353、354）

- 森林環境教育の発展を考える (No.354)
- 森の言葉、言葉の森 (No.358)
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
 - 知床世界自然遺産地域におけるエコツーリズム推進について (1、2)
(No.349、350)
 - 東京農業大学多摩川源流大学プロジェクト (No.353)
 - わがまち 石鎚に抱かれた水の都 西条 (愛媛県西条市) (No.347)
 - わがまち 風と光と緑、悠久の流れの中でともに生きる島
(鹿児島県屋久島町) (No.349)
 - わがまち ^{みのり ひかり} 農と輝の大地 (岩手県八幡平市) (No.351)
 - わがまち 芝ざくらと花と溪谷の町 (北海道滝上町) (No.354)
 - わがまち 里山と田園風景が広がる癒しの里 (群馬県川場村) (No.355)
 - わがまち 「11ぴきのねこ」によるまちづくり (青森県三戸町)
(No.357)
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報
 - 平成 29 年度林野庁予算 (概算決定) から (No.357)
- ⑤ 当協会に関する情報
 - 第 60 回理事会の開催 (平成 28 年度事業計画) (No.347)
 - 第 28 回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の決定
・プロフィール (No.348、349)
 - 第 32 回通常総会の開催 (No.350)
 - 「山の日」八甲田記念登山 (No.353)
 - 平成 28 年度森林インストラクター資格試験合格者の発表 (No.356)
 - 第 30 回森林レクリエーション全国研修会 (No.358)

(2) 第 29 回森林レクリエーション地域美化活動コンクールの実施

都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校、地域グループ、職場グループなどのボランティア団体等を公募 (締め切りは平成 29 年 2 月末日)。応募総数 37 団体 (都道府県推薦 20 団体、森林管理局推薦 16 団体、当協会支部推薦 1 団体) について、審査委員会による審査の結果、次の受賞団体を決定。

- 農林水産大臣賞(1点)
特定非営利活動法人 太平山南山麓友の会 (栃木県栃木市)
- 林野庁長官賞(2点)
雪入山友の会 (茨城県かすみがうら市)
静岡県立大学環境サークル CO-CO (静岡県静岡市)
- 協会会長賞(6点)
いしかり森林ボランティア「クマゲラ」(北海道石狩市)
仁頃山愛好会 (北海道北見市)
入日の森友の会 (新潟県新潟市)
滝ヶ原町鞍掛山を愛する会 (石川県小松市)
倉敷地域森づくりの会 (岡山県総社市)
滑床を愛する会 (愛媛県宇和島市)
- 奨励賞(6点)
芝山自然公園美化協力会 (福島県いわき市)
神山地区自治振興会 (福井県越前市)
山梨県北杜市立長坂中学校 (山梨県北杜市)
長野県諏訪市立城北小学校 (長野県諏訪市)
岡山県立真庭高等学校しめ山プロジェクト (岡山県真庭市)
さつき松原管理運営協議会 (福岡県宗像市)

(3) 第30回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「日本三大スギ美林「魚梁瀬スギの森」を巡る」
 開催時期 平成28年10月20日(木)～21日(金)
 開催場所 高知県馬路村
 参加人員 31人
 研修内容 千本山風景林及び森林鉄道遺構などの視察等

(4) 「山の日」記念事業の実施

① 「山の日」記念三浦雄一郎氏と登る高尾山と記念講演の実施

「山の日」が国民の祝日となることを記念し、平成28年7月19日に、東京都八王子市の高尾山において、当協会会長の三浦雄一郎氏との記念登山と同氏による記念講演を、一般財団法人日本森林林業振興会及び一般社団法人日本森林インストラクター協会との共催により実施した。

(一般参加者：記念登山98名、記念講演128名)

② 「山の日」八甲田記念登山の実施

八甲田ロープウェイ(株)と当協会の主催により、平成28年8月11日、青森県八甲田山において、県内の高校3年生を対象に記念登山を実施した。
(参加高校生：12名)

(5) 森林環境教育ネットワーク事業

平成19～21年度に実施した森林環境教育推進総合対策事業(林野庁補助事業)の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信、パンフレットの配布等の普及啓発活動を実施。

① ウェブサイト「森で学ぼう!! 森林環境教育ネットワーク」の運営

URL：<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

② メールマガジンの配信(会員登録数：1,171)

第153号(平成28年4月5日)～第170号(平成29年3月15日)

(6) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、

① 機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行(年4回、各回850～900部)

② 子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供

③ 実施団体や活動記録等の整理・取りまとめ

④ 資料の配布やインストラクターの紹介

⑤ 子ども樹木博士リーダー等交流会の実施(平成28年4月23日)

等の活動を実施。

(7) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4回)や現地研修会(1回)の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム：平成 28 年度の活動状況

研究会等の開催	テーマ・講師等
第 1 回研究会 (3 月 2 日)	「林産物に関する TPP 大筋合意の概要と林業・木材産業分野における TPP 対策」 講師 林野庁林政部木材産業課長 小島 孝文 氏
第 2 回研究会 (6 月 24 日)	①「平成 27 年度森林・林業白書について」 講師 林野庁林政部企画課課長補佐（年次報告班担当） 寺村 智 氏 ②「人を地域を元気にする「滝」の魅力」 講師 フリーライター（滝ガール） 坂崎 絢子 氏
第 3 回研究会 (10 月 5 日)	①「国有林をめぐる観光関連施策の状況」 講師 林野庁国有林野部経営企画課国有林野総合利用推進室長 林 視 氏 ②「日本人と森の文化―「社」と「寺」から考える―」 講師 旅の文化研究所 研究主幹 山本 志乃 氏
現地研修会 (10 月 20 日～21 日)	開催場所 高知県馬路村 千本山風景林、森林鉄道遺構ほか (第 30 回森林レクリエーション全国研修会に合わせて開催)
第 4 回研究会 (12 月 16 日)	①「国有林野事業の現状」 講師 林野庁国有林野部経営企画課長 原田 隆行 氏 ②「ニュージーランドの林業・林産業：現地在住コンサルタントから見たその概要、現状と課題」 講師 林産業・木材ビジネスコンサルタント 松木 法生 氏

(8) 他団体主催行事への後援等

- ① 第 26 回森と花の祭典・みどりの感謝祭（協賛）
平成 28 年 5 月 14 日・15 日（イイノホール及び東京都立日比谷公園）
- ② エコプロダクツ 2016・森林からはじまるエコライフ展（参加）
平成 28 年 12 月 8 日～10 日（東京ビッグサイト：東京都江東区有明）

- ③ 農林水産省「消費者の部屋」特別展示「国有林野で学び、遊ぼう」(協力)
平成 28 年 12 月 5 日～12 月 9 日 (農林水産省)
- ④ 平成 28 年度国有林野事業業務研究発表会 (協会会長賞の授与)
平成 28 年 12 月 13 日 (林野庁)
- 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞
(森林ふれあい部門)
課題名 山口森林管理事務所における民国連携の取組について
—地域に愛される国有林を目指して—
受賞者 近畿中国森林管理局山口森林管理事務所 中嶋 俊介 氏
平尾 夏郁子氏
- ⑤ 第 2 回木育・森育楽会 (後援)
平成 28 年 11 月 3 日 (おおさか ATC ビル
おおさか ATC グリーンエコプラザ)

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの資格試験を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録。

平成28年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始（平成28年3月1日）
- ② 養成講習受講者の募集開始（平成28年4月1日）
- ③ 養成講習の実施

区分	科目	期間	日数	場所	受講者数
講習Ⅰ (科目別講習)	森林	5.14～5.16	3	東京都文京区 林野会館	76人
	野外活動等	5.28～5.30	3		67人
	林業	7.2～7.3	2		68人
講習Ⅱ (全科目講習)	4科目	8.13～8.20	8		58人

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。

○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 平成28年5月14日～7月3日（うち8日間） 受講者数 57人
- ② 平成28年8月13日～20日 受講者数 62人

4 森林インストラクター資格認定事業

平成 28 年度森林インストラクター資格試験の受験申込者数は 366 人（前年度 409 人）、合格者数は 79 人（同 115 人）で、平成 3 年度からの合格者数の累計は 4,059 人。合格者には、登録により「森林インストラクター」の称号を付与。

平成 28 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（平成 28 年 3 月 1 日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（平成 28 年 6 月 1 日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9 月 25 日	札幌市	北海道経済センター	9 人
	仙台市	ショーケー本館ビル	32 人
	東京都	青山学院大学	174 人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	38 人
	大阪市	天満研修センター	75 人
	高知市	高知会館	9 人
	福岡市	電気ビル本館	29 人

- ④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11 月 19～20 日	東京都	林野会館	84 人

- ⑤ 合格者の審査・決定（平成 28 年 12 月 5 日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（平成 28 年 12 月 9 日）
- ⑦ 平成 28 年度の登録更新の開始（平成 28 年 12 月）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日	開催地等	本部出席者
道 央	28年8月26日	北海道札幌市	木下専務理事
旭 川	28年6月24日	北海道旭川市	伴 顧問
北 見	28年7月8日	北海道北見市	木下専務理事
帯 広	28年5月27日	北海道足寄町	伴 顧問
函 館	28年8月2日	北海道七飯町	木下専務理事
青 森 (研修会)	28年10月25～26日	青森県弘前市	木下専務理事
秋 田 (研修会)	28年10月25～26日	青森県弘前市	木下専務理事
前 橋 (研修会)	28年9月2日	群馬県前橋市	木下専務理事
	28年11月9日	群馬県前橋市	
東 京	28年7月7日	東京都江東区	
長 野	28年6月29日	長野県長野市	伴 顧問
名古屋	28年7月29日	愛知県名古屋市	伴 顧問
四 国 (研修会)	29年2月20日	徳島県三好市	木下専務理事
賛助会員 研修会等	28年6月24日等	東京（森林共生フォーラム「研究会」への参加等）	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

(1) 平成 28 年度における会員数の異動状況

区 分	平成 27 年度末	入 会	退 会 等	平成 28 年度末
正 会 員	232	-	4	228
賛助会員	16	-	-	16
合 計	248	-	4	244

[入会] (佐呂間町(北見支部)平成 29 年度入会)

[退会] 草津町(前橋支部)、(株)プリンスホテル雫石スキー場(青森支部)、
添田町(熊本支部)、黒部溪谷鉄道(株)(名古屋支部)

(2) 平成 28 年度末における支部等別会員数

区 分		市 町 村	事 業 体	計
正 会 員	道 央 支 部	8	6	14
	旭 川 支 部	10	8	18
	北 見 支 部	8	1	9
	帯 広 支 部	6	3	9
	函 館 支 部	16	8	24
	青 森 支 部	20	9	29
	秋 田 支 部	11	8	19
	前 橋 支 部	13	23	36
	東 京 支 部	9	9	18
	長 野 支 部	8	5	13
	名 古 屋 支 部	5	1	6
	四 国 支 部	10	6	16
	九 州 支 部	11	2	13
	本 部	1	3	4
	小 計	136	92	228
	賛 助 会 員		-	16
合 計		136	108	244